

## Question

減量のタイミングは？



## Answer

フルティフォーム<sup>®</sup>125 エアゾールを投与している成人患者において、喘息症状の緩解がみられた場合には、治療上必要最小限の用量に減量した上で投与を継続してください。

また、必要に応じて、配合剤である本剤（フルティフォーム<sup>®</sup>）から吸入ステロイド剤の単剤への切り替えも考慮してください。

なお、小児では用法及び用量の変更はできません。

添付文書の記載は、以下のとおりです。

### 6. 用法及び用量

#### 成人

通常、成人には、フルティフォーム 50 エアゾール（フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 50 $\mu$ g 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 $\mu$ g）を 1 回 2 吸入、1 日 2 回投与する。なお、症状に応じてフルティフォーム 125 エアゾール（フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 125 $\mu$ g 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 $\mu$ g）を 1 回 2～4 吸入、1 日 2 回投与する。

#### 小児

通常、小児には、フルティフォーム 50 エアゾール（フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 50 $\mu$ g 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 $\mu$ g）を 1 回 2 吸入、1 日 2 回投与する。

### 7. 用法及び用量に関連する注意

症状の緩解がみられた場合は、治療上必要最小限の用量を投与し、必要に応じて吸入ステロイド剤への切り替えも考慮すること。

・添付文書（6 項、7 項） [2021 年 11 月改訂（第 4 版）]